

小山城南小学校 いじめ対策アクションプラン

いじめの防止等のために小山市が実施する施策

- ・ 「小山市いじめ問題対策連絡協議会」の設置
- ・ 「小山市いじめ問題専門委員会」の設置
- ・ いじめの未然防止
- ・ いじめの早期発見
- ・ いじめへの対処
- ・ 家庭、地域住民及び関係機関との連携
- ・ 学校や教職員の評価及び学校運営改善の支援

学 校

【命を守るための児童指導を全ての教育活動の基盤とする】

①いじめの未然防止

- ・ あいさつを全校で重視（あいさつ運動・強調週間の実施）
- ・ 自己存在感や充実感を感じられる学級づくり（居場所づくり）
- ・ 全ての子どもが主体となり活躍し、互いが認め合える場面の実現（絆づくり）
- ・ ルールの徹底と良好な人間関係の確立
- ・ 子どもが意欲的に取り組む授業づくり
- ・ 全職員、全児童によるぼかぼか言葉の積極的活用
- ・ 帰りの会での「きらきらタイム」の位置づけ→友達のよさを見つけて発表（自尊感情を高める）
- ・ いじめ防止強調週間の実施（6/6の週）
- ・ Q-U検査の効果的な運用
- ・ 道徳の時間や「心を育てる学校教育の日」の充実
- ・ 人権教育の充実（オレンジリボンの意識化）
- ・ 学級白書による全職員の共通理解
- ・ 全職員の共通理解のもと、少しでも多く子どもとのふれあいの時間を確保し、観察しながら信頼関係を築く。
- ・ 家庭・地域社会との連携及び保護者への啓発活動

②いじめの早期発見・早期対応

- ・ いじめの半数以上が学級内に関わるので、特に学級担任はアンテナを高くセンサーを敏感に働かせ、いじめの兆候を見逃さないように努力する。
- ・ さ「最悪の場合を想定し」
- ・ し「慎重に」
- ・ す「すばやく」
- ・ せ「誠意をもって」
- ・ そ「組織で対応」
- ・ SOSチェックシートの実施（月2回）
- ・ 全職員での組織的対応、養護教諭との連携
- ・ 教育相談の位置づけ（年2回）
- ・ 職員打合せでの情報交換
- ・ 職員会議や運営委員会での情報交換と話し合い
- ・ なかよしポストの設置
- ・ SCやSSW、学校相談員、生活相談員等の積極的活用

児 童

おやまっ子 いじめゼロ宣言

- 一. 相手のことを考え、困っていたり、悩んでいたりする人を見過ごしません
- 二. 元気のない友達に声をかけ、進んで助ける優しさと、一歩踏み出す勇気を持ちます
- 三. 一人一人のよい所をたくさん見つけ、誰もが仲間であるという気持ちを大切にします
- 四. 「おはよう、ごめんね、ありがとう」心を込めて伝えます
- 五. お互いに助け合い、はげまし合い、みんなが笑顔で過ごせる学校にします

家 庭・地 域

おやまのよい子を育てる大人宣言2013

- 一. 私たち大人は、地域のイベントに進んで参加し、子どもと一緒にたくさん遊び、信頼を深め、学び合います
- 一. 私たち大人は、子どものよいところを見つけて声をかけて褒め、悪いことに気付いたら迷わず注意します
- 一. 私たち大人は、人の失敗を悪く言ったり、あざわらったりせず、励まし、助け合います
- 一. 私たち大人は、子どもが本音で話し合える時間をつくり、安心できる家庭にします
- 一. 私たち大人は、互いにだめなものはダメと言える大人社会を築きます